

県立高校再編計画についてどう考えるのか

質問 岩手県教育委員会の県立高等学校再編計画では、平成31年に前沢高校と水沢工業高校で1学級減が予定されている。前沢高校では、少人数指導で丁寧な授業やホームペー

ジなどの毎日の更新で「選んでもらえる高校」をめざしている。水沢工業高校では、資格取得をめざし朝学習に取り組んでいる。高校再編計画について、どう考えるのか。

教育委員長 平成28年、29年入試において、2校5学科のうち4学科で志願者数が募集定員を下回った状況であり、やむをえないと考える。

子どもの医療費無料拡大は 子どもの医療費無料化について、一関市長は来年度から高校卒業まで無料化する方針を表明した。これについて、市長はどう思っているのか。

市長 思い切られたものだと思う。（無料化拡大の）全体の流れは至当なことである。国の子育て支援における最低限の保障としてやるべきである。

る。

入学準備金は年度内支給

質問 要保護、準要保護家庭に対する就学援助について、入学準備金はお金の必要な入学準備中に支給すべきではないか。

教育委員長 国の制度が入学予定者を対象とするよう改められたことに合わせて、平成30年度より新入学用品費を入学前の3月に支給できるようにする。



ちば あつし
千葉 敦 議員（日本共産党）



学級減が心配される水沢工業高校

三セク債86億6千万円の「繰上げ償還」はどうか

質問 旧土地開発公社の負債86億6千万を、市が第三セクター等改革推進債（三セク債）を活用して、金融機関に一括返済し公社を解散させた。そのため

市は、平成24年より20年間一般会計から毎年4億3、300万円と利息を払い続けることになる。市民負担の軽減には、旧公社の解散時の土地評価額55億5千万円の内、売却処分地としている約38億円の土地を、いかに売却するかが求められる。平成27年に10億円の繰上げ償還したが、今後の繰上げ償還の見通しを聞きたい。

市長 現在、土地を売却して減債基金に7億円ほど積み立てているが、今後も売却して償還に努めたい。

質問 約38億円分の売却処分地を、値引きや入札減で売却価格が下回っている。繰上げ償還による市民負担の軽減が、今後、三セク債全体のどれくらいの割合になるのか。

市長 繰上げ償還を進めるためには、代物弁済土地（旧公社の負債を市が肩代わりしての土地）の内、市が活用する土地についても売却することを考える必要がある。

新市立病院の建設について

質問 新市立病院の建設は、総合水沢病院（本館は昭和58年建設、耐用年数39年）の老朽化を理由にしているが、

病院の建物がどのような状況にあるか。震度6強で崩壊する危険性があると調査結果が示されている。それで早い建て替えが必要である。



売出し中の住宅地
（桜屋敷ニュータウン）



ちば けんじ
千葉 健児 議員（市民クラブ）